



ほけんだより

18年度1月号
明照保育園



【子どもの健康状態】

年末年始で楽しい行事も多い中、お家の方が健康・安全管理を心がけて下さり、ゆったりのんびりもできたのか、大きな病気・ケガのお休みはありませんでした。乳児さんで流行性角結膜炎（通称はやりめ）が少しでいますので注意して下さい。



昨年はインフルエンザが流行していたこの時期、今年は豊橋市内でもほとんど出ていないようです。市内の感染症情報によると、現在アデノ扁桃炎、RS ウイルス感染が流行中のようです。

【RSウイルス感染症について】

RSウイルス（Respiratory Syncytial virus）による感染症で、冬季に乳児を中心に流行する急性呼吸器疾患です。一般的な経過では、2日～1週間（通常4～5日）の潜伏期間の後、咳や鼻水から始まり、その後気管支炎や肺炎などが現れることがあります。38～39度の発熱が見られることもあります。2歳以上では“鼻かぜ”程度で済むことがほとんどですが、1歳未満 特に生後6月未満の乳児、心肺に基礎疾患を有する小児や早産児が感染すると、呼吸困難などの重篤な呼吸器疾患を引きおこし、入院や呼吸管理が必要となることがあります。

感染経路としては、咳による飛沫感染や、鼻汁、喀痰などから手指や物を介しての接触感染と考えられています。

～予防について～

- ・ RSウイルス感染症にはワクチンがなく、治療は対症療法となりますので予防が大切です。
- ・ 感染予防対策としては、『うがいや手洗いの励行』『感染者との密接な接触を避けること』です。
- ・ 感染した場合は、他の風邪と同様、水分、栄養、睡眠を十分にとり、保温をして安静を保ちましょう。
- ・ 症状が現れたら速やかに受診しましょう。



【流行性角結膜炎とは】

流行性角結膜炎（通称はやりめ）とはウイルスで起こる急性の結膜炎のことです。

（ウイルスというのは、麻疹、水ぼうそう、風疹、インフルエンザ等を起こす病原体の仲間を言います。）以前はプールでうつる夏の病気だったのですが、近頃では一年中見られるようになりました。はやり目が怖いのは、伝染力が大変強く、また普通の結膜炎と違って透明な角膜に小さな混濁が生じ、視力が少し低下する場合があります。



*** 予防 *** 全て接触感染です。ウイルスに感染した眼を手で触れると手にウイルスが付きまします。この手を洗わずにいろんな物に触れると、それにウイルスが付着し、さらに他の人がそれに触れて感染するという経路がほとんどです。

【インフルエンザについて】

症状は・・・

- ・ 急激な発熱のため子どもは急にぐったりし、起きていらさなくなる子もいる。
- ・ 顔は紅潮し、見るからにつらそうで、頭痛や筋肉痛を訴えたりする。

（その一方で、高熱のわりに元気な子もいる）

熱が“何度か”よりも、発熱が“どれくらい続いているか”に注意して下さい

インフルエンザは予防が第一ですので、症状があらわれた時は園の方にも報告をお願いします。

【ぎょう虫卵検査について】

前検（1回目）・・・1/15（月）配布 1/16（火）～17（水）朝まで回収

前検（2回目）・・・1/22（月）配布 1/23（火）～24（水）朝まで回収

配布した翌日から2日間回収を行っています。必ず提出して下さい。

前検の1回目、2回目でぎょう虫卵が検出された子は、駆虫し後検を行います。

蟻虫（ぎょうちゅう）って何？

ぎょう虫は、長さオス：2～5ミリ、メス8～13ミリで、盲腸のあたりにすみついている寄生虫です。夜のうちにメスがおしりの穴に、卵を産みつけます。

ぎょう虫がいると...

・ おしりがかゆい ・ 腹痛 ・ 体重が増えない ・ 眠れない（夜泣き） ・ 神経質になる



【おわりに】

2007年新しい年のスタート いよいよお遊戯会のシーズンですね これからだんだん練習が始まります。子どもたちが意欲的に練習に取り組むためには、お家の方のご協力が必要です！！朝ごはんをしっかり食べ、8時45分を目指して元気よく登園しましょう！

